

児童生徒の状態に応じた不登校支援

登校している

① 学校に馴染んでいる

② 学校は辛くないが不安を感じている(元気がない)

③ 心の中では登校が辛い(欠席はしていない)

④ 教室で過ごせるが、遅刻や欠席がしばしばある

⑤ 登校しても教室には入れず、校内教育支援センター等で過ごす

<未然防止>

- (1) 不登校に関する基本的な考え方
- (2) 魅力ある学校づくり・学級づくり
- (3) 学習状況等に応じた指導と配慮
- (4) SOSを出すこと(受け止めること)
・SOSの出し方に関する教育のガイドブック
- (5) 教職員の相談力向上のための取組 (上記資料参照)
・教育相談これだけは！

<早期発見・対応>

- (6) 早期発見と初期対応
・教職員の連携の工夫 (実践事例集P6参照)
- (7) アセスメント(情報収集・分析)
- (8) 支援のプランニング
・児童生徒の実態に寄り添った支援 (実践事例集P4参照)
・「チーム学校」による組織的な対応
・支援計画作成のポイント
- (9) 休み始めの段階における初期対応
・不登校になる前段階の対応(家庭訪問)
・児童生徒が安心して利用できる環境の整備 (実践事例集P2参照)
- (10) 校内教育支援センター等の有効活用
・小・中・義務教育学校における学校内教育支援センターの運営
～誰一人取り残されない学びの保障のために～
・オンラインを活用した学習支援 (実践事例集P9参照)
・児童生徒の学習評価の工夫 (実践事例集P11参照)
- (11) 学校と家庭との連携
・学校と家庭との効果的な連携 (実践事例集P7参照)

登校していない

⑥ 登校はできないが学校以外の施設への定期的な参加はできる

⑦ 比較的気軽に外出はできる

⑧ 家庭内では安定しているが、外出は難しい

⑨ 部屋に閉じこもり、家族ともほとんど顔を合わせない

<長期化への対応>

- (12) 長期化への対応(自立に向けた支援)
- (13) 校外教育支援センター等の有効活用
・岐阜県学校・フリースクール等連携ガイドライン【R6年更新版】
- (14) 多様な関係機関との連携
・スクールソーシャルワーカー等の活用
・SC、SSW等の活用ハンドブック
・学びの多様化学校(分教室型を含む)の活用
・子どもの自己選択による居場所と支援の方向
・フリースクールの活用
・岐阜県学校・フリースクール等連携ガイドライン【R6年更新版】
・岐阜県ひきこもり支援の在り方に関する指針
- (15) ICT等の有効活用
・オンラインを活用した学習支援 (実践事例集P9参照)
・小・中・義務教育学校における学校内教育支援センターの運営
～誰一人取り残されない学びの保障のために～
・岐阜県学校・フリースクール等連携ガイドライン【R6年更新版】
- (16) 保護者に対する支援
・電話相談窓口
・保護者の会(親の会)の開催
・未来をはぐくむ不登校児童生徒サポートセミナー(岐阜県教育委員会主催)
- (17) 多様な自立の在り方に向けての進路支援
・高校生段階に対する支援 (G-プレイス)

